

# = Match Report =

## 第103回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 準決勝

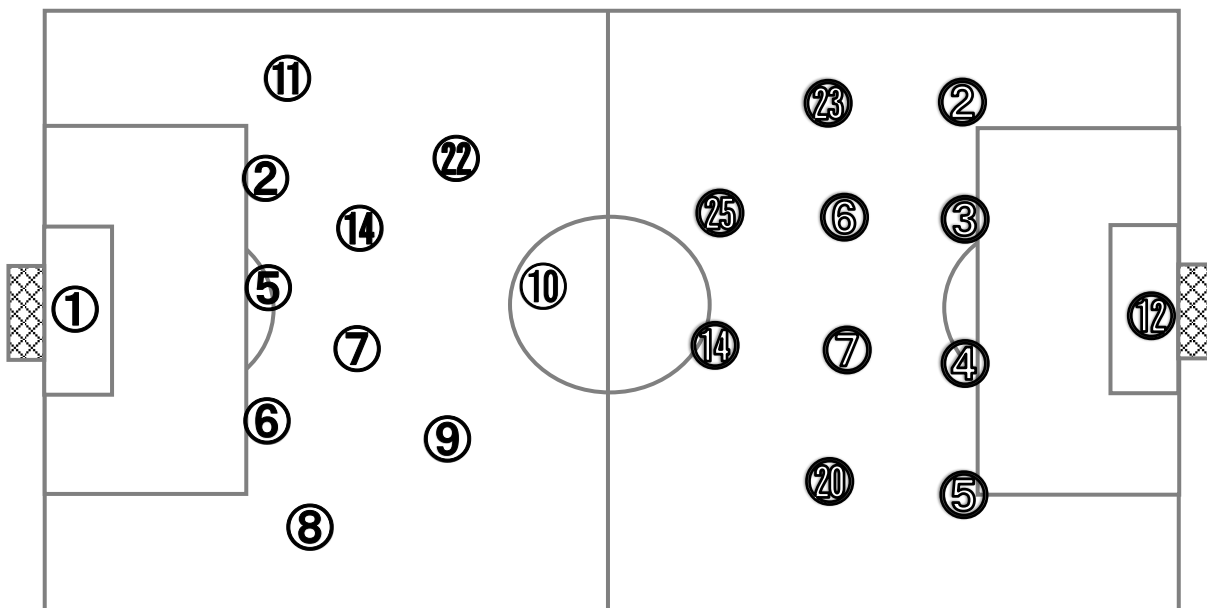
2024年 11月 3日 (日) 10:30 kick off 会場 ( 柏の葉公園総合競技場 )

マッチNo. [ M40 ]

市立船橋 高校 ( 千葉県 ) vs 日体大柏 高校 ( 千葉県 )

1 0 - 1 1  
1 - 0  
0 - 0  
0 - 0  
1 PK 3

基本システム 1 - 5 - 2 - 3 基本システム 1 - 4 - 4 - 2



### 【Match Report】

前回大会で全国準決勝へ進んだプレミアリーグ所属の市立船橋と、昨年の県決勝のリベンジマッチとなる県1部首位を走る日体大柏の一戦。DFラインでボールを保持しようとする日体大柏に対し、市立船橋は相手の横パスとバックパスをスイッチに前線からプレスをかける。日体大柏はシンプルにロングボールを使いながら前線にボールを集め、FW⑫込山とMF⑫三橋の背後へのランニングとFW⑭小泉の体を張ったポストプレーから攻撃の起点を作ろうとする。対する市立船橋はDFラインがスライドしながら対人に強いDF⑤岡部を中心に日体大柏の攻撃を跳ね返し、攻撃では1トップFW⑩久保原と2シャドーのコンビネーション、両ワイドMF⑧金子とMF①渡部の推進力を活かしたサイド攻撃、セットプレーからゴールに迫ろうとする。拮抗した展開となる中、28分に日体大柏が先制する。DF③岡崎のフィードからMF⑫三橋がハイサイドへ抜け出し右サイド深い位置に侵入。横で受けたDF②小菅のクロスからバイタルエリアにこぼれたボールをMF⑫三橋がゴール前にループパス、最後はFW⑭小泉がマークを外しながら右足で流し込む。追う展開となる市立船橋は、DF⑤岡部の正確な配球をきっかけに相手陣地での攻撃回数を増やすが、日体大柏はDF③岡崎とDF④奥村を中心に粘り強く守り、決定機を作らせない。日体大柏はカウンターとセットプレーからチャンスを作り出すもお互い追加点はなく前半終了。

後半立ち上がり、市立船橋は空中戦と球際の強度の高さで日体大柏を押し込む。53分、市立船橋は相手陣地の深い位置でクリアボールを回収すると、左サイドからのクロスにFW⑨伊丹がピンポイントで頭で合わせ、同点に追いつく。日体大柏はMF⑥加藤を中心に相手プレスを回避しながらボールを動かしサイドに起点をつくる。また、交代出場のスピードスターMF⑦吉川の背後へのランニングが市立船橋の脅威となる。対する市立船橋は攻守ともに運動量豊富なMF⑦奉野が中盤でボールを奪い、FW⑨伊丹のフィジカルを活かしたカウンター、DF⑤岡部をターゲットにしたセットプレーから得点を狙う。終盤には両チームともに枠内シュートを放つ決定機が訪れるも、市立船橋GK①ニコラスと日体大柏GK⑫早川のファインセーブが光り、1-1のまま延長戦へ。

延長前半、日体大柏MF⑦沼田のFKが枠内を捉えるも市立船橋GK①ニコラスが横っ飛びで防ぐ。延長後半には、守備の要であった市立船橋DF⑤岡部がこの日2枚目の警告により退場となるも、交代出場のDF④ガブリエルを中心に日体大柏の猛攻を耐え凌ぎPK戦へ。緊迫した展開となる中、日体大柏GK⑫早川が2本のPKをストップする活躍をみせる。両チームともにスタイルを貫いた激闘は日体大柏に軍配が上がり、3年連続の決勝進出を決めた。

記載責任者 所属 ( 千葉県立松戸馬橋高校 ) 氏名 ( 佐藤 研人 )

# = Match Report =

## 第103回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 準決勝

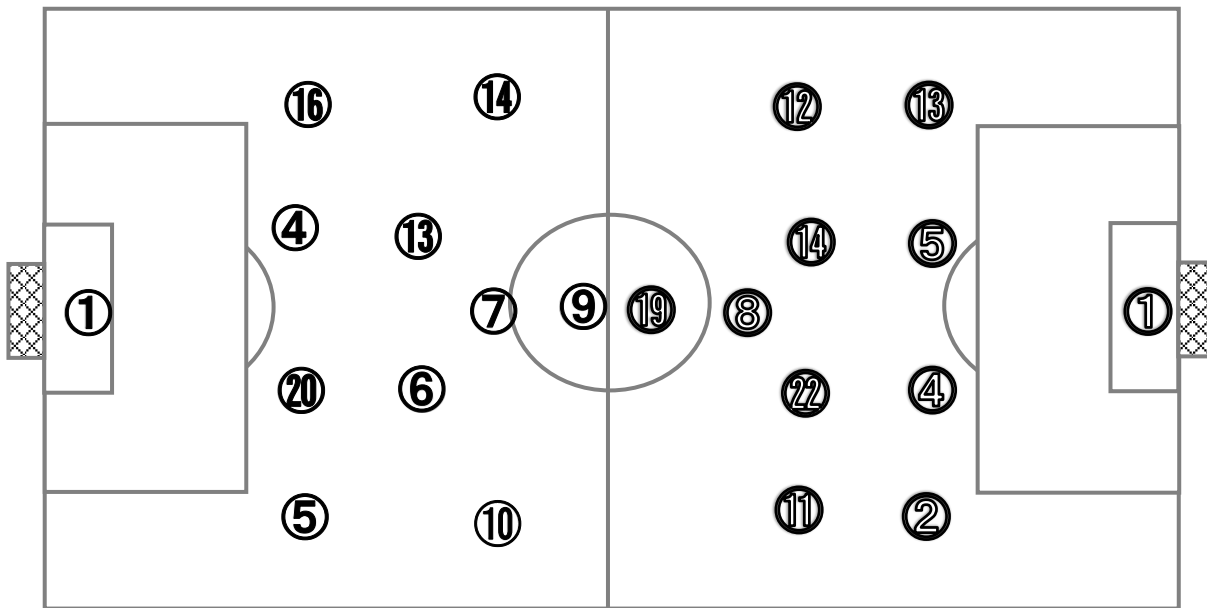
2024年 11月 3日 (日) 13:50 kick off 会場 ( 柏の葉公園総合競技場 )

マッチNo. [ M41 ]

八千代 高校 ( 千葉県 ) vs 流経大柏 高校 ( 千葉県 )

1 0 - 2 3  
PK

基本システム 1 - 4 - 2 - 3 - 1 基本システム 1 - 4 - 4 - 2



### 【Match Report】

開始早々に得点が動く。5分、流経大柏は左サイドを起点にMF⑧亀田がポケットへ進入し、マイナス方向のクロスにMF⑭飯浜が合わせ先制点をあげる。序盤、流経大柏の素早いプレスに、八千代は前線へロングボールを送る展開になる。流経大柏は右サイドを中心に長短のパスで八千代ゴール前に迫り、チャンスを多く作るがゴールを奪えない。17分、八千代は左サイドでMF⑧佐々木のスピードを生かした突破で起点を作り、味方クロスに合わせたMF⑩平川が同点ゴールを奪う。徐々に八千代はワンタッチプレーや連動した攻撃が増え、くさびのパスが入るようになる。38分、流経大柏は右サイドでのCKからDF⑤佐藤がヘディングで押し込み、前半終了間際にゴールをあげる。流経大柏は後半から出場したFW⑱和田とFW⑲粕谷との2トップで相手陣内に押し込み、ボールをキープしチャンスメイクをする。51分、流経大柏の左サイドハーフに入ったMF⑧亀田がセンターライン付近でボールを受け、ドリブルでペナルティーエリアへ進入しシュート、こぼれをFW⑱和田が押し込みスコアを3-1とする。八千代は前線のFW⑨小金谷とFW⑦須兎にシンプルにボールを預け突破を図るが、CB⑤佐藤を中心とした強固な守備陣が1対1の強さを見せる。運動量が落ちない流経大柏は、後半になってもプレスを緩めず、回収したボールを素早い切り替えて前線へ送り、決定機を何度も作る。八千代はディフェンシブサイドからビルドアップをしチャンスを伺い、76分には裏への抜け出しからシュートを放つがGK①加藤のファインセーブに阻まれ得点が出来ない。3-1でタイムアップを迎え、流経大柏が2年ぶりの決勝進出を決めた。

記載責任者 所属 ( 千葉県立市原八幡高校 ) 氏名 ( 石川 大志 )